

最近の授業の様子・・・

あれ？今年の梅雨はいつ始まっていつ終わったのか・・・と言いたくなるほど、梅雨らしくなかった今年は、全国的にも梅雨明けが異例の早さでした。久賀小中学校では、6月下旬に水泳の授業が始まりました。優芽さんはとにかくこの水泳の授業を楽しみにしていて、プール清掃の時から、「水泳が楽しみです！」とことあるごとに言っていました。初めはまだ水も冷たかったようですが、これから気温も上がり、プール日和が続きそうです。

理科の授業では、「遺伝」について学習しています。メンデルが考え出した遺伝の規則性について学ぶために、黄色と白色の粒が混じっているピーターコーンの粒をひたすらむいて、黄色と白色の粒の数を数えました。黄：白＝3：2と予想していた優芽さんでしたが、結果は「黄：白＝3：1」でした。（これは理想的な数値です！）これから「なぜ黄：白が3：1になるのか？」などを詳しく学習していきます。

音楽の授業では、2学期の体育大会・学習発表会・県中学校総合文化祭で披露する太鼓の練習がはじまっています。一定のリズムを刻まなければならない平太鼓は、一見簡単そうに見えて、全体のリズムを左右するのでとても重要な役どころです。夏休みも是非自宅で練習してほしいと思います。

熊川のつぶやき・・・

先日の給食で「皿うどん」ができました。いつものようにおいしくいただいて、ごちそうさまをした後に確認すると、めずらしくほとんどの生徒が時間内に食べられていませんでした。理由を聞くと、そもそも「皿うどんの食べ方が分からなかった」とのこと。袋に入った皿うどんの細麺を軽く叩いて細かく砕いて、皿にのせ、その上に餡をかけて食べるのですが、確かに、初め優芽さんも餡をかけずに麺と少しの餡をすくって一緒に食べていました。他にも、麺を砕かずに餡をかけてしまって、なかなかうまく食べられなかった生徒もいたようです。ちょうど、去年の給食で「姫路おでん」が出たときのことを思い出しました。おでんに「生姜醤油」をつけて食べる習慣が長崎にはなかったのが、驚いたのと、生姜がいいアクセントになって新しい食べ方を知ったことを思い出しました。住む場所が変われば、文化や食も変わるということを知ることができたこと、またそれを身をもって体験することができたこと、このしま留学のいいところだな・・・と感じた昼下がりでした。

